

肥育牛の第四胃左方変位における
臨床および臨床生化学所見一條俊浩^{1)†} 佐藤 繁²⁾ 田口 清³⁾

1) 宮城県農業共済組合連合会家畜診療研修所 (〒981-3602 黒川郡大衡村大衡字平林38-3)

2) 岩手大学農学部 (〒020-8550 盛岡市上田3-18-8)

3) 酪農学園大学獣医学部 (〒069-0836 江別市文京台緑町582)

(2007年10月17日受付・2008年7月31日受理)

要 約

肥育牛の第四胃左方変位 (LDA) の病態を明らかにする目的で, LDA牛30頭 (黒毛和種: JB; 10頭および黒毛和種とホルスタイン種の交雑種: F1; 20頭) の臨床および臨床生化学所見を検討した. LDA牛は外科的整復時, 第一胃容積の減少と硬固感, 第四胃のアトニーとガス貯留が重度であった. LDA牛では健康牛 (JBおよびF1各10頭) に比べグルコース (Glu), 遊離脂肪酸 (NEFA), および乳酸 (LA) が高値, 総コレステロール (TC), 尿素窒素 (UN), アルブミン (Alb), カルシウム (Ca), 無機リン (iP), ナトリウム (Na), カリウム (K), クロール (Cl) およびビタミンE (VE) が低値を示した. また, 術後10日では初診日に比べてGlu, NEFAおよびLAが低下, TC, Ca, iP, K, VEおよびビタミンAが増加した. よって肥育牛のLDAは長期的な飼料摂取の減少とエネルギー, タンパクおよび無機物不足の存在が示唆された. —キーワード: 血中成分, 肥育牛, 第四胃左方変位, 負のエネルギーバランス.

日獣会誌 62, 203~207 (2009)

† 連絡責任者: 一條俊浩 (宮城県農業共済組合連合会家畜診療研修所)

〒981-3602 黒川郡大衡村大衡字平林38-3 022-345-2239 FAX022-345-0891

E-mail: momozuro@hotmail.com